

## 平成26年度第2回議会報告会（市民と議会のつどい）実施報告書

開催日時	平成26年11月16日（日）午後7時～9時23分	
開催場所	アスピアやましろ 視聴覚・研修室	
担当議員	班代表者	中野 重高
	司会者	尾崎 輝雄
	報告者	酒井 弘一、尾崎 輝雄
	記録者	片岡 廣、河口 靖子
	班員 (上記以外)	西岡 努、谷川 光男、山本 和延
一般参加者数	7人	
主な質疑・意見等	<p>Q：中間管理機構の認定農業者の選び方は。</p> <p>A：中間管理機構について、JAが各農家に対してどのような意向を持っておられるか意見集約されている。行政側もされるが、そのすり合わせによって、木津川市の中間管理機構に対する基盤や方向性が決められると思っている。</p> <p>*農地中間管理機構（農地集積バンク）とは、 我が国農業の構造改革を推進するため、農地利用の集積集約化を行う農地中間管理機構を都道府県段階に創設するとともに、機構の設立にあわせ、遊休農地解消措置の改善、青年等の就農促進策の強化、農業法人に対する投資の円滑化等を講じるもの。</p> <p>Q：学研土地開発公社の土地と1億2000万円の運営費の活用は。</p> <p>A：学研土地開発公社に関しては報告案件である。</p> <p>Q：木津川市の基金若しくは準備金の運用、運営は。</p> <p>A：基金の運営については、市は何も出来ていない。</p> <p>Q：農業委員の報酬をどのように思っているか。</p> <p>A：特別職報酬等審議会で議論されると思うが、農業委員の役割を担う方が、どんどん出られる状態が報酬にも関係してくるのだろうと考えているので、農業委員会も報酬審議会への諮問を依頼されたら良いかと思う。</p> <p>Q：クリーンセンター建設特別委員会の最後に委員長からまとめをして欲しい。</p> <p>A：我々からは言えない</p>	

	<p>Q：文化財、大塚山古墳に取り組んでいない。 A：文化財が後回しになっていることは事実である。</p> <p>Q：12月7日に木津川市防災訓練実施の回覧が回ってきた。椿井区長から、自主防災会と市防災会との連携、リンクには関与しない。自衛隊要請はあり得るのか。 A：去年は棚倉地域で避難訓練あった。明後日に区長会があるので、知らされると思う。</p> <p>Q：南平尾では区長がないのに、未だに残っている。名称の統一を図って欲しい。 A：行政に伝える。</p> <p>意見：過去の産業建設常任委員会での請願審査内容について意見があった。 A：持ち帰って精査することとした。</p>
<p>質問・要望 等で行政側 へ報告すべ き内容</p>	
<p>そ の 他 特 記 事 項</p>	

上記のとおり、報告します。

平成26年11月25日

木津川市議会議長 西岡 努 様

平成26年度第2回議会報告会  
第3班 代表者 中野 重高 ㊞